

自然観察路マップ

自然観察路には「質問・案内板」が10か所設置されています。実際にその場所に行き、観察し、答えを考えてみましょう。

私の名前は？
質問板の右側にある木の幹はキリの木の幹によく似ていますが、若いときにはトゲがありました。あなたならこの木にどんな名前をつけますか？

野鳥とききなし
ウグイス(春)の「ホーホケキョ」、ホトトギス(夏)の「特許許可局」、モズ(秋)の「ギョングヨン」「チキチキ…キィーキィー」、ツグミ(冬)の「クィッ、クィッ」など、野鳥の声を言葉で表現したものを「ききなし」といいます。今、聞こえている鳥の声を言葉で表現してみましょう。

雑木林の利用
このあたりにはコナラやシデ類が生えています。このような林は雑木林と呼ばれます。雑木林はどのように利用されているでしょうか？

木の年齢
この木の年齢はいくつでしょう？1年ごとに年輪がひとつ増えます。年輪を数えることで、木の年齢がわかります。

落ち葉の行方
落ち葉をそっとめくってみましょう。下に行くにつれて、落ち葉の様子はどう変わっていくでしょう？色やにおい、葉の大きさなどを観察してみましょう。

ヒノキとサワラ
ヒノキとサワラはたいへんよく似ています。葉をよく観察して、その違いを書き出してみましょう。

大きなホオノキの葉
自分の手をものさしにして、いちばん大きな葉の長さを測ってみましょう。

モミとカヤ
モミとカヤはたいへんよく似ています。葉をよく観察して、その違いを書き出してみましょう。

においのするコケ
「においのするコケ」があります。コケの表皮を見たり、触ったり、においをかいだりして、名前をつけてみましょう。

ニワトコの葉
ニワトコの木があります。ニワトコの葉はどれでしょう？

フィールドマナー ～自然を大切に～
◆ 村内での植物や昆虫の採集は禁止です。
◆ 観察をする時、枝を強く引っばったり、葉をちぎったりしないでください。

このアクティビティシートは、愛川ふれあいの村利用者に役立つ活動情報を提供するためのものです。目的外の使用、内容の改変、WEB等への転載を禁じます。

自然観察路マップ 記入用紙

名前： _____




1	答えは？
2	付けた名前は？
3	どんな違いがある？
4	どんな違いがある？
5	葉っぱの大きさは？
6	どんなふうに変わっていききましたか？
7	付けた名前は？
8	どう利用されていると思いますか？
9	どんな鳥の音が聞こえましたか？
10	木は何歳ですか？

自然観察路マップ

自然観察路には「質問・案内板」が10か所設置されています。観察し、質問の答えを考えることで、生き物への関心を高めたり、五感を養ったりすることができます。

持ちもの	自然観察路マップ・記入用紙（別紙・必要枚数のコピーをご用意ください） 筆記用具・バインダー（必要に応じて） その他、帽子・雨具・水筒など野外活動に必要なもの
------	--

自然観察路 質問板 解答と解説

1	<p>ニワトコの葉 正解：②（^{きすうじょうふくよう}奇数羽状複葉）</p> <p>ニワトコの葉は、大きな葉が小さな部分に分かれたような形になっており、先端に小葉があるので奇数羽状複葉といいます。どこまでが一枚の葉なのかは、芽がどこについているかで決まります。芽は枝の先端と葉の付け根につきますが、一枚の葉の途中にはつかないからです。</p> <p>クワの葉のように分かれていないものを^{たんよう}単葉といいます。</p>	
2	<p>においのするコケ</p> <p>このコケはジャゴケ（ゼニゴケ目ジャゴケ科）といいます。ヘビの鱗のような見た目から「蛇苔」と呼ばれるようになりました。ゴツゴツとした固い触感です。また、表面をこすると、松やニや松茸のようないい香りがするのも特徴のひとつです。</p> <p>形や色、においなどの特徴から、どんな名前が飛び出してくるでしょうか？</p>	
3	<p>モミとカヤ</p> <p>葉の形はよく似ていますが、モミはマツ科、カヤはイチイ科の植物です。よく見るとモミの葉は先端が2つに分かれ、カヤの葉は分かれていません。</p> <p>カヤの木質は固く、碁盤や将棋盤として利用されます。木肌も固そうに見えます。また、カヤの種子を炒って食用とする地方もあります。</p>	
4	<p>ヒノキとサワラ</p> <p>いずれも同じヒノキ科で判別しにくいのですが、葉の裏を比べると違いがはっきり分かります。ヒノキはY字の模様が白く見られますが、サワラにはX字模様が見られます。</p> <p>ヒノキとサワラが並んでいると、キツツキはサワラを選んで巣づくりをします。つまり、ヒノキの方が固い木質だということです。ヒノキは建築材として使われるほか、精油がアロマテラピーに利用されます。</p> <p style="text-align: center;">【上：ヒノキの葉（Y字模様） 下：サワラの葉（X字模様）】</p>	

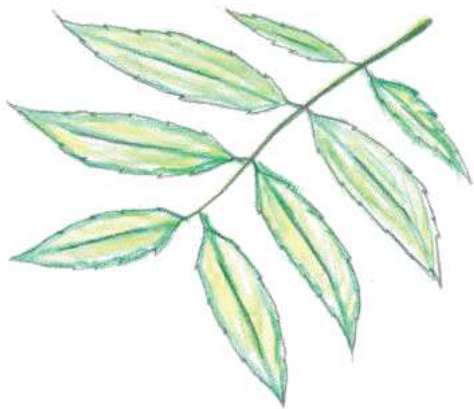
5	<p>大きなホオノキの葉 手を広げた幅や足の大きさなど、自分の体を使って簡易に測定をすることができます。 ホオノキのほか、トチ、ヤツデ、カシワ、ハリギリなども大きな葉をつけます。(ハリギリは、愛川ふれあいの村管理棟前に1本あります) ホオノキの葉は食料を包むのに古くから利用されてきました。5月ごろに白い大きな花が咲き、あたり一面にとってもいい香りがします。木材は木版や下駄の材料になります。</p>
6	<p>落ち葉の行方 積み重なった落ち葉は下へ行くほど、色は黒っぽく、堆肥のような土臭いにおいがし、分解されて小さくポロポロになります。それをミミズや微生物が食べて分解し、土壌化していきます。これが「腐葉土」と呼ばれるもので、植物にとってよい肥料となります。 落ち葉の変化を知ること、自然界の連鎖について興味を持つきっかけになるでしょう。</p> <div data-bbox="965 510 1129 869" style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> </div> <div data-bbox="1157 510 1428 840" style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> <p>L 落葉・落枝層 (シードバンクとも)</p> <p>F 植物の組織が認められる有機物層</p> <p>H 植物の組織が認められない有機物層</p> <p>A₁ 腐食が多い鉱質土壌</p> <p>A₂ 腐食が少ない鉱質土壌</p> </div>
7	<p>私の名前は？ これは木を観察して自分で名付けてもらう質問なので、正解はありません。 この木はハリギリという名前です。若いときは枝や幹に針のようなトゲがあり、葉や枝の様子がキリの木に似ているので、ハリギリと名付けられました。葉は手のひら状に7～9に切れ込みがあり、夏に黄緑色の花が咲きます。実は鳥たちの好物です。</p>
8	<p>雑木林の利用 雑木林にはコナラやクヌギなどの固い木が多く、以前は薪として使ったり、木炭を作ったりしていました。しかし、今では燃料として使われることは少なくなり、主にシイタケのホダ木として利用されています。 雑木林の利用方法を考えることで、自然と人間の共生について考えるきっかけになります。</p>
9	<p>野鳥とききなし 愛川ふれあいの村ではさまざまな野鳥の鳴き声を聞くことができますが、その姿を見るのは大変困難です。鳥の鳴き声を人の言葉に置き換えた「ききなし」で何の鳥かを判断できるようになると、バードウォッチングもさらに楽しくなります。 鳥の姿を見たい時は、声をたよりに探してみましょ。声のする方向で木の枝が風に関係なく動いていたなら、そこに鳥が止まっているかもしれません。 「ききなし」は地方や国によって異なり、たいへん興味深いものです。</p>
10	<p>木の年齢 正解：32歳 木は春から秋にかけてぐんと成長し、冬の間はあまり成長しません。この成長スピードの差が年輪です。ですから年輪の数を数えると、その木の年齢がわかるのです。 日本は四季があるので、はっきりと年輪が現れます。逆に熱帯林など、年間を通して気候のあまり変わらない地域では、はっきりとした年輪が見られない樹木も多くあります。</p>

自然観察路 質問板

①ニワトコの葉

ここには、ニワトコという木があります。

ニワトコの葉は、次のうちどれでしょう？



質問板の例